



令和6年6月4日

広島大学文書館が 第10代学長牟田氏のご経歴に関する証言集を刊行しました

情報提供

広島大学文書館では、広島大学75年史編纂室と共同で、広島大学関係者の聞き取り調査（オーラル・ヒストリー）を行っています。今回、第10代学長牟田泰三氏の証言集を刊行しました。証言集の概要は以下の通りです。

【広島大学文書館オーラル・ヒストリー叢書第3集 牟田泰三（第10代広島大学長）オーラル・ヒストリー】

本報告書では、第10代学長を務めた牟田泰三氏の生い立ちから現在に至るまでの経験を1冊の証言集としてまとめました。牟田氏は九州大学を卒業後、東京大学大学院、京都大学基礎物理学研究所等を経て、昭和57年に理学部教授として本学に着任されました。

その後、理学部長、副学長等を経て平成13年5月から19年5月まで本学の学長を務めました。牟田氏は、総合研究大学を目標に掲げ、大学院の重点化・講座化に伴う組織の再編、国立大学法人化に伴う諸改革、法務研究科・薬学部・放射光科学研究センター・宇宙科学センターの新設等に取り組みました。

また、牟田氏が学長を務めた時期は、平成16年4月の国立大学法人化と重なります。文部科学省の政策が大きく転換する中、本学の対応についての証言を収録しました。今年は国立法人化から20年の節目の年にあたりますが、これまで大学内部の証言はほとんど公になっていません。このため本書は広島大学の歴史だけではなく、高等教育史研究にとっても貴重な記録です。

なお、令和4年発行の第1集（卒業生証言集）、令和5年発行の第2集（中国新聞社元社長・文学部卒業生今中亘氏）に続き、今回が第3集になります。本文は現在、広島大学学術情報リポジトリで公開中です。

DOI: <https://doi.org/10.15027/55290>

【お問い合わせ先】

広島大学文書館・75年史編纂室（担当：石田）
Tel : 082-424-6050 FAX : 082-424-6049
E-mail : bunsyokan@office.hiroshima-u.ac.jp
発信枚数：A4版 1枚（本票含む）

